＜様式 6-5 学校教育活動支援事業成果報告書＞

【活動の主題】　森のワークショップ
【副題】　ありがとう永原小学校

【学校名】　長浜市立永原小学校

1　本校の概要

本校は、地域と深く連携しながら子どもたちの成長を支える、温かく活気ある小学校である。しかし、児童数減少により今年度で閉校し、来年度からは同じ中学校区内の２校で統合し、新しい小学校になる。

豊かな自然に囲まれ、四季折々の風景を身近に感じながら、児童はのびのびと学習活動に取り組んでいる。地域の自然環境を活かした学習も盛んであり、今年度ユネスコスクールに認定された。

少人数ならではの家庭的な雰囲気の中で、児童一人ひとりの個性を尊重しながら、学力・体力・人間性のバランスのとれた成長を目指している。

2　取り組んだ内容

（1）コラージュの製作

学校裏にある森の公園「希望公園」を会場に、全校と保護者ボランティアによるアートのワークショップを行った。はじめに、参加者全員で、校歌の演奏&斉唱を行い、活動が始まった。

ワークショップは、「未来の自分」をテーマにチラシや雑誌などの多彩な紙を使ってコラージュをした。木や花をモデルとして「元気な木」や「やさしい花」などの作品を個々に製作した。

子どもたちは、森の中を自由に歩き回りながら、思い思いに好きな場所を見つけ、そこで制作をスタート。木の根元や苔の上、切り株の上など、それぞれが心地よいと感じた場所で、チラシやポスターを素材に、個性あふれる作品を生み出していった。

自然の中でのびのびと過ごしながらアートに向き合うことで、想像力が引き出され、創造することの楽しさを存分に味わうことができた。

（２）作品展示・作品鑑賞

作ったコラージュの作品をお互いに鑑賞し合い、相手の作品の工夫や、発想に注目して感想を伝え合った。学年を越えて相手の作品の色づかいや素材の使い方が面白く、興味をもって質問することもできた。違う視点からの見方を知ることができて勉強になった。

できた作品は、参観の日や閉校式にも森の中や体育館に展示し、多くの方に見ていただく予定である。

３　活動の成果

今回の活動を通して、児童はコラージュという新しい表現方法に触れ、自分の発想を形にする楽しさや、他者の作品から刺激を受ける面白さを実感した。初めは戸惑いも見られたが、モーネ工房の二人やボランティアの支援により、主体的に取り組む姿勢が育まれた。

また、互いの作品を鑑賞し合うことで、コミュニケーション能力や他者理解が深まった。

今回の経験は、今後の図画工作や日常の創作活動においても、自由な発想や表現力を活かす貴重な機会となった。

学年を越えた交流が実現し、異なる学年の児童同士が互いに刺激を受け合う貴重な機会となった。これにより、協力する姿勢やコミュニケーション能力が高まり、学校全体の一体感が深まった。

今回の活動は、児童にとって永原小学校での楽しい思い出の1ページとなった。